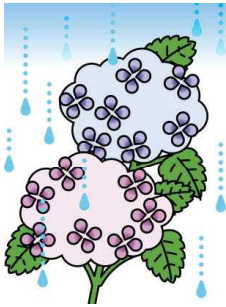


# すこやか

6月号

平成27年6月1日 No.6



暑い日が続いています。この時期は、体がまだ暑さに慣れていないため、効率よく汗をかくことができません。そのため、体温調節がうまくいかず熱中症を起こしやすくなります。

生活リズムを整えて体力を維持しておくこととともに、軽い運動で少しずつ暑さに慣れさせることや水分をこまめにとるなど、本格的な暑さが訪れる前に、熱中症予防を習慣づけていくようお願いします。

今月の保健目標  
歯を大切にしましょう

## 6月の保健行事

4日(木) 歯科検診 9:00～ ひまわり・1・3・5年  
酒井先生(にがたけホワイト歯科)

検診の日は、朝食後にしっかり歯をみがきましょう

18日(木) 歯科検診 9:00～ 2・4・6年  
藤田先生(藤田歯科医院)



## 6月4日～10日は 「歯と口の健康週間」

歯や口の健康を守って、年をとっても健康に過ごせる体を作ることを目的に実施しています。

新田小学校では、6月8日(月)～6月12日(金)の期間を『歯と口の健康週間』として、全学年がカラーテスター(歯垢染色錠)を使用し、歯みがきなどの指導をとおして歯と口の健康について学習します。持ち物の準備等、ご協力をお願いします。

保護者の方へ

カラーテスターの成分は以下のとおりです。

- ・乳糖
  - ・食用赤色104号
  - ・結晶セルロース
  - ・香料(オレンジ由来)
  - ・タルク
  - ・ステアリン酸マグネシウム
  - ・サッカリンナトリウム
  - ・プロピレングリコール
- ※食品添加物が主であるため、飲み込んでも無害です

使用できないお子さんは、連絡帳でお知らせください。

## 伝染性紅斑(りんごほっぺ病)流行の恐れ！

宮城県内で伝染性紅斑が流行する恐れがあり、手洗いやうがいによる感染予防を呼びかけています。

伝染性紅斑は、軽いかぜのような症状があり、ほおや腕、足に紅斑がでます。発疹が出た時には感染力がなくなっているので登校を控える必要はありません。

ただし、妊婦が感染すると胎児に影響を与えることがあるので注意が必要です。

## もうすぐプールが始まります



### 感染症にかかっている時のプールでの対応

日本臨床皮膚科医会と日本小児皮膚科学会は、次の感染症にかかっている場合のプールでの対応について、このように示しています。

<small>でんせんせいのおかしん</small> <b>伝染性膿痂疹</b> (とびひ)	<p>かきむしったところの滲出液、水疱内容などで次々にうつります。プールの水ではうつりませんが、触れることで症状を悪化させたり、ほかの人にうつす恐れがあるので、プールや水泳は治るまで禁止してください。</p>
<small>でんせんせいなんぞくしゅ</small> <b>伝染性軟属腫</b> (水いぼ)	<p>プールの水でうつりませんので、プールに入っても構いません。ただし、タオル、浮輪、ビート板などを介してうつることがありますから、これらを共有することはできるだけ避けてください。プールの後はシャワーできれいに洗いましょう。</p>
<b>アタマジラミ</b>	<p>アタマジラミが感染しても、治療を始めればプールは入っても構いません。ただし、タオル、ヘアブラシ、水泳帽などの貸し借りはやめましょう。</p>
<small>かいせん</small> <b>疥癬</b>	<p>肌と肌の接触でうつります。ごくまれに衣類、寝床、タオルなどを介してうつることがありますが、プールの水でうつることはありませんので、治療を始めればプールに入っても構いません。ただし、角化型疥癬の場合は、通常の疥癬に比べ非常に感染力が強いため、外出自体を控える必要があります。</p>

肌の状態が気になるときや、判断に迷うとき、参考にしてください。



